

# 夏ネギの新品種 ‘夏の宝山’

## 1 新しい品種の内容

### (1) 背景・目的

白ネギの夏秋どり標準品種として用いられている‘夏扇パワー’は、耐暑性・肥大性が優れるが、在圃性が短く、収穫後半になると襟部の締まりが低下しやすいといった問題点がある。新品種 ‘夏の宝山(MKS-N06)’(みかど協和)は、品種比較試験の結果、弓浜部 9～10 月どり作型において、盛夏期の生存株率が高く、肥大性に優れ、‘夏扇パワー’ と同等もしくはそれ以上の収量性を有することから、今後の普及が望めるため、有望品種として紹介する。

### (2) 品種 ‘夏の宝山’ の要約

1) 以下の栽培型に適する (図 1)。

① 1 月下旬～2 月上旬播種、3 月下旬～4 月上旬定植、9 月～10 月上旬収穫

② 2 月中旬～3 月上旬播種、4 月中旬～5 月上旬定植、10 月～11 月中旬収穫

2) 盛夏期の欠株が少なく、生存株率が高い。

3) 肥大性に優れ、L～2L 規格中心によく揃う。

4) ‘夏扇パワー’ と比較して、襟部の締まりが良く、品質が優れる。

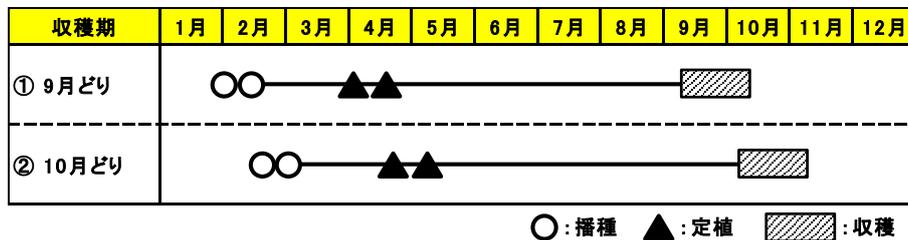


図 1 ‘夏の宝山’ の適作型(200 穴セルトレイ育苗)

## 2 試験成果の概要

### (1) 生育特性

‘夏の宝山’ は、‘夏扇パワー’ と比べ初期生育はやや劣るものの、生育後半にかけての肥大性が優れ、‘夏扇パワー’ と同等もしくはそれ以上の葉鞘径、一本重となった。併せて、生存株率も高かった。

### (2) 収量性

‘夏の宝山’ は、9 月どり、10 月どりの何れの作型においても、L～2L 規格中心であり、‘夏扇パワー’ と比較して上物収量が優れた。

### (3) 品質特性

‘夏の宝山’ は、‘夏扇パワー’ と比べ葉色がやや薄くなるが、収穫時の葉折れは同程度～やや少なく、襟部の締まりでは‘夏扇パワー’ より優れた。

表1 各年における収穫時の生育および残存株率

作型	品種	2012				2013			
		草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	一本重 (g/本)	生存株率 <sup>3)</sup> (%)	草丈 (cm)	葉鞘径 (mm)	一本重 (g/本)	生存株率 <sup>3)</sup> (%)
9月どり <sup>1)</sup>	夏扇パワー	88.6	19.6	203.8	88.3	95.1	18.4	238.5	86.7
	夏の宝山	87.8	18.9	209.9	87.1	86.1	19.8	243.1	84.2
10月どり <sup>2)</sup>	夏扇パワー	88.0	19.0	190.8	71.7	84.0	17.9	180.2	86.7
	夏の宝山	85.5	18.7	179.0	84.6	79.2	17.9	187.0	91.7

1) 2012年(播種日:1月30日 定植日:4月16日 収穫日:8月22日), 2013年(播種日:2月4日 定植日:4月10日 収穫日:9月2日)

2) 2012年(播種日:2月21日 定植日:4月19日 収穫日:10月30日), 2013年(播種日:2月20日 定植日:4月22日 収穫日:10月28日)

3) 栽植本数(4,000本/a)に対する収穫本数の割合

表2 ‘夏の宝山’の作型・年次別品質特性

作型	年	草姿	葉色	葉折れ	襟部の縮まり
9月どり	2011	5	2	5	3.9
	2012	3	4	3	3.6
	2013	5	2	4	3.6
10月どり	2011	3	2	4	4.3
	2012	4	2	5	3.3
	2013	4	2	3	3.6

注) ‘夏扇パワー’を3とした指数

草姿(5:立性~1:開性)、葉色(5:濃~1:薄)、  
葉折れ(5:少~1:多)、襟部の縮まり(5:良~1:悪)

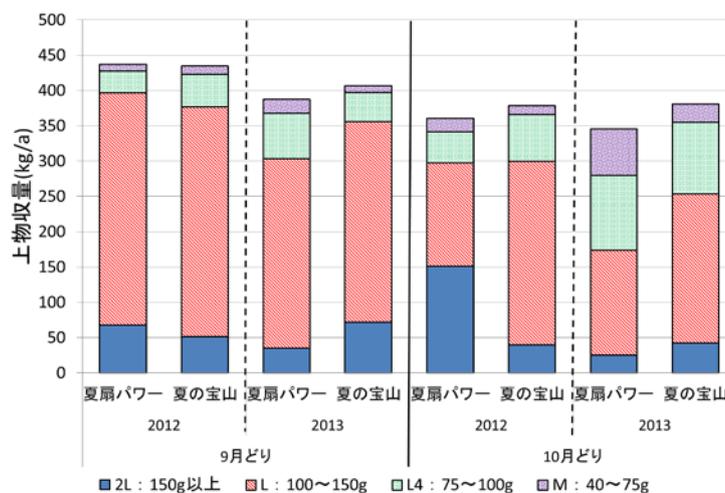


図3 規格別収量

### 3 普及の対象及び注意事項

(1) 普及の対象 弓浜砂丘地域 夏秋どり栽培地域

(2) 注意事項

- 1) 在圃期間が長くなると、襟部の縮まりが悪くなるため、収穫遅れにならないよう適期に収穫する。また、土壌水分の多い圃場は襟部の縮まりが悪くなりやすいため、排水の良い圃場を選ぶ。
- 2) ‘夏扇パワー’と比べ、土寄せ後の葉鞘伸長は比較的遅いため、過剰な土寄せは避ける。
- 3) ‘夏扇パワー’と比べ、葉色が薄い。葉の色出しや草丈を確保するための過剰な追肥は、襟部の縮まりの低下による品質劣化を招く恐れがあるので注意する。
- 4) ‘夏扇パワー’と比べ、白絹病に罹病しやすい傾向があるため、高温期の予防防除を徹底する。

### 4 試験担当者

弓浜砂丘地分場 研究員 福田侑記  
研究員 田村佳利  
分場長 中村博行